

## 第5学年3組 家庭科学習指導案

平成28年10月28日(金) 第1校時

場 所 5年3組教室

児童数 男子20名 女子16名 計36名

### 1 題材名 「かたづけよう 身の回りの物」

### 2 題材について

#### (1) 児童の実態

本学級の児童は、5年生から始まった家庭科の学習に興味をもって取り組んでいる。アンケートの結果、家庭科が好き、どちらかといえば好きと答えた児童がおよそ9割であった。中でも好きな理由として「いろいろなものを作るから」「作ったものが食べられ、おいしいから」「みんなのできるから」という意見が多く、調理や裁縫への関心の高さがうかがえる。一方で家庭科が嫌いだと答えた児童の中には「作るのに時間がかかる」「自分の役割がうまくできない」といった回答がみられ、実習への取り組みと家庭科への関心の高さに関係があるという傾向がうかがわれた。一方で、調理や裁縫以外の学習内容に関しては関心がそれほど高くないということが分かった。

身の回りの整理・整頓については本題材で初めて家庭科としての学習を行う。日常生活の中で、児童は整理・整頓についてあまり関心は高くなく、学校の引き出しやロッカーの中、廊下のフックなど、物であふれ、自分の持ち物をしっかりと管理できていない様子が見受けられる。また、豊かな家庭が多いためか、持ち物をなくしても新しい物を持ってきて済ませてしまうなど、物に対する愛着や、物を大切にしている心情が希薄な児童もいる。

#### (2) 題材観

本題材は、学習指導要領家庭科第5学年の以下の内容を受けて設定したものである。

##### C 快適な衣服と住まい

(2) 快適な住まい方について、次の事項を指導する。

ア 住まい方に関心をもって、整理・整頓や清掃の仕方が分かり工夫できること。

本題材では、身の回りの物を片付けたり清掃したりすることによって、気持ちよく生活できることに気づき、身の回りの整理・整頓の仕方や掃除の仕方が分かり、身の回りを快適に整えようと主体的に考え、工夫できるようにすることを目指している。児童の身の回りの物の整理・整頓を取り上げ、物を使う人や場所、その使用目的や頻度、大きさや形などによって整理・整頓の仕方を工夫する必要があることが分かり、何がどこにあるか、必要な物がすぐに取り出せるか、空間を有効に使えるかなどの視点から工夫できるようにする。また、身の回りの物の分類の仕方や収納の仕方を考えるなど、A (2)「家庭生活と仕事」やD (2)「環境に配慮した生活の工夫」の学習との関連を図りながら、児童それぞれの家庭生活に応じて工夫したり環境に配慮したりしながら、日常生活で実践できるようにする。

#### (3) 指導観

児童の周りには日常的に物があふれ、なんでも揃うことが当たり前となっている。しかし一方で、いつでもなんでも揃うあまり、物を大切に扱うことがおろそかになっていたり、必要のないものを買ってしまったりする傾向もみられる。そこで、第1次では、整理・整頓の違いを知り、整理・整頓をすることのよさについて考えさせる。付箋を活用し自分の持ち物を書き出させることで、自分の身の回りに多くのものがあるということに気付かせる。それらを仕分けながら整理・整頓をし、互いによりよいところを伝え合う時間を設けることで、言語活動の充実を図る。これらを踏まえ、第2次ではより

具体的な場面を設定し、実際に整理・整頓の計画を立てることで、実生活に繋げていくことができるよう指導していきたい。また、第3次には環境とのかかわりについても押さえ、広い視野で考えられるようにしていきたい。

### 3 題材の目標

- 身の回りの整理・整頓に関心を持ち、気持ちよく過ごそうとする。  
〈家庭生活への関心・意欲・態度〉
- 整理・整頓の仕方がわかり、工夫できる。  
〈生活を創意工夫する能力〉
- 身の回りの整理・整頓をすることができる。  
〈生活の技能〉
- 身の回りの整理・整頓の仕方について理解している。
- 「D身近な消費生活と環境」と関連付けて、ゴミの始末や不用品の活用の仕方を工夫し、環境を考えた生活の仕方がわかる。  
〈家庭生活についての知識・理解〉

### 4 題材の評価規準

家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
○身の回りの整理・整頓に関心を持ち、整理・整頓をしようとしている。	○整理・整頓の仕方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	○身の回りの整理・整頓ができる。	○身の回りの整理・整頓の仕方について理解している。 ○ごみの始末や不用品の活用の仕方を理解している。

### 5 指導計画及び評価計画 (4時間扱い)

小題 格	時間	○ねらい・学習活動	評価規準・評価方法			
			関心・意欲・態度	創意工夫	技能	知識・理解
身の回りに目を向けよう(2)	1	○自分の生活している場所を見つめ、気持ちよく生活するためには身の回りの物を整理・整頓する必要があることに気づく。 ・散らかっている場所の様子から、気づいたことを発表する。 ・自分の引き出しの中にある物を確認し、整理について考える。	身の回りの整理・整頓に関心を持ち、整理・整頓をしようとしている。 (観察・ワークシート)			身の回りの整理・整頓の仕方について理解している。 (観察・ワークシート)
	②	○自分の身の回りの物の整頓の計画を立て、整理・整頓をする。 ・引き出しの中の整頓の計画を立てる。 ・計画に従い、整頓を行う。 ・友だちと、整頓について意見を交流する。			身の回りの整理・整頓ができる。 (観察・ワークシート)	

整理・整とんをしよう(1)	3	○身の回りの整理・整頓の仕方がわかり、工夫できる。 ・自分の部屋や家の中で整理・整頓したい場所を考え、整理・整頓の計画を立てる。 ・実際に整理・整頓を行う。(家庭学習)		整理・整頓の仕方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。 (ワークシート)	
物を生かすくふうをしよう(1)	4	○不用品を減らすための方法を考えたり、ごみの出し方を知ったりする。 ・不用品が出る理由を考える。 ・不用品を減らす方法を考える。 ・ごみの出し方について知る。			ごみの始末や不用品の活用の仕方を理解している。 (ワークシート)

## 6 本時の学習 (2 / 4 時間)

### (1) 本時の目標

- ・自分の身の回りの物の整頓の計画を立て、整理・整頓をする。

### (2) 展開

	時間	学習活動	指導上の留意点 (・) 評価規準 (◎) 【評価方法】	資料・用具
つかむ	3	1 前時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理は必要なものと必要でないものを分けること、整頓は使いやすいようにしまうことであるということを押さえる。</li> <li>・前時のワークシートから、自分の身の周りにどのようなものがあるのかを振り返る。</li> </ul>	ワークシート
	2	2 本時のめあてを知る。	自分の身の回りの物の整とんの計画を立て、整理・整とんをしよう。	
深める	15	3 机のまわりのものを整頓する計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようにしたら使いやすくしまえるか、整理・整頓のポイントを押さえる。</li> </ul> <p>&lt;整理・整とんのポイント&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①必要なものだけにする。</li> <li>②しまう場所を決め、分けてしまう。</li> <li>③よく使うものは、取り出しやすい場所にしまう。</li> <li>④ラベルなどで分かりやすくする。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の机の中にあるものを、しまう場所・入れる順番・仕切り方などを考えながら、どのように整頓したらよいか図示させる。</li> </ul>	ワークシート
	10	4 整理・整頓を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理・整頓する前の状態を記録したものと比較し、整理・整頓のよさを明確にする。</li> </ul>	机の中の写真

	◎身の回りの整理・整頓ができる。〈生活の技能〉（観察・ワークシート）		
	十分満足の状況（A）	おおむね満足（B）	Bに達しない児童への手立て
	・身の回りにある物を、しまう場所やしまう順番を考えて、整理・整頓している。	・身の回りにある物を、整理・整頓している。	・声をかけながら不要なものを確認したり、しまう場所を考えさせたりする。
生 か す	7	5 友だちと、整理・整頓について意見を交流する。	・それぞれの整理・整頓の様子を見合い、よいところやアドバイスなどを伝え合う。
	7	6 整理・整頓をして、気づいたことを発表する。	・整理・整頓をやってみて感じたことを記入し、整理・整頓の良さをまとめる。 ＜整理・整とんのよさ＞ ①使いたい時に取り出しやすい。 ②きれいな状態で気持ちが良い。 ③物を無くさなくて済む。 ④余計なものを買わずに済む。 ⑤危険防止につながる。
	1	7 次時の予告をする。	・次時は家庭での整理・整頓について考えることを説明し、整理・整頓が必要な場所の様子をよく観察してもらうよう指示する。

## 7 板書計画

10 / 28 かたづけよう 身の回りの物

**課** 自分の身の回りの物の整とんの計画を立て、整理・整とんをしよう。

必要なもの	必要でないもの
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

整 理…必要なものと必要でないものを分けること  
 整とん…使いやすいようにしまうこと  
 ↓どうしたらいい？

- ・いらぬものはすてる。
- ・しまう場所を決めて分ける。
- ・よく使うものは、取り出しやすい場所にしまう。
- ・ラベルなどで分かりやすくする。

引き出しの整理・整とんをしよう

○整理・整とんのよさ  
 ①使いたいときに取り出しやすい。  
 ②きれいで気持ちが良い。  
 ③物をなくしにくい。  
 ④余計なものを買わずに済む。  
 ⑤危険防止になる。



# かたづけよう 身の回りの物

5年 組 名前 ( )

課

整理・整とん前

<整理・整とんのポイント>

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

**STEP 2** 整とんをしよう。  
引き出しの中



みんなから一言

整理・整とんのよさ



整理・整とんをする  
ことができた。



今日の学習をふり返って、分かったことや考えたこと